

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	学校法人 大阪音楽大学
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

内容
<p>オーケストラに関するお話や楽器の紹介、本公演での共演曲目の事前指導を行います。</p> <p>【楽器紹介】「弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器」と4つのグループを順番に紹介。 【ミニコンサート】 各楽器の演奏やアンサンブルでの生演奏をお届けいたします。 【指揮者体験】 2～3名の児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦していただきます。</p> <p>後半は、選択いただいた共演曲に応じて内容が異なります。</p> <p>A【合唱での共演】 身体の仕組みや呼吸法など、プロのオペラ歌手による歌唱指導を中心に行います。</p> <p>B【手拍子リズムでの共演】 指導者のリズムを真似しながら、身体を叩いて楽器にします。本公演でオーケストラとの一体感を感じていただけるよう、音楽に合わせて練習します。</p> <p>【質問コーナー】 子供たちの疑問・質問にお答えします！</p> <p>※実施が困難な場合、下記内容を収録したDVD教材送付による代替対応に変更可能。</p>

タイムスケジュール（標準）					
例)					
◆午前に実施の場合					
<table border="1"> <tr> <td>8：30頃 学校到着</td> <td>8：45～10：10 準備・リハーサル</td> <td>10：20～12：00 ワークショップ</td> <td>12：10～ 後片付け</td> <td>12：30 学校出発</td> </tr> </table>	8：30頃 学校到着	8：45～10：10 準備・リハーサル	10：20～12：00 ワークショップ	12：10～ 後片付け	12：30 学校出発
8：30頃 学校到着	8：45～10：10 準備・リハーサル	10：20～12：00 ワークショップ	12：10～ 後片付け	12：30 学校出発	
◆午後に実施の場合					
<table border="1"> <tr> <td>11：30頃 学校到着</td> <td>11：45～13：10 準備・リハーサル</td> <td>13：20～15：00 ワークショップ</td> <td>15：10～ 後片付け</td> <td>15：30 学校出発</td> </tr> </table>	11：30頃 学校到着	11：45～13：10 準備・リハーサル	13：20～15：00 ワークショップ	15：10～ 後片付け	15：30 学校出発
11：30頃 学校到着	11：45～13：10 準備・リハーサル	13：20～15：00 ワークショップ	15：10～ 後片付け	15：30 学校出発	
<p>※授業の2コマ（約90分程）を使用いたします。実施時間は、授業に合わせて変更可能です。 ※大人数での参加が難しい場合、参加人数を分けて短縮×2回での実施も可能です。</p>					

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
演奏者（4～5名）、スタッフ（1～2名）

学校における事前指導
<p>合唱共演の場合は、合唱曲の事前練習をお願いいたします。 →実施が困難な場合、DVD教材送付による代替対応に変更可能です。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	学校法人 大阪音楽大学
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

演目			
●オープニング ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲			
●楽器紹介 弦楽器・管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます。			
●オーケストラ演奏 マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲			
●オペラ・アリア プロの歌手達による歌声をお届けします。			
休憩 10～15分			
●校歌合唱 オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！			
●指揮者体験コーナー ～オーケストラの指揮に挑戦♪ ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲			
●共演コーナー（下記の中から共演希望曲を1曲選択） オーケストラと一緒に演奏してみよう！！			
●オーケストラ演奏 チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より “花のワルツ”			
<table border="1"><tr><td>A 合唱 杉本竜一 / ビリーブ</td><td>B 手拍子リズム ロッシーニ / 歌劇「ウィリアムテル」序曲</td></tr></table>	A 合唱 杉本竜一 / ビリーブ	B 手拍子リズム ロッシーニ / 歌劇「ウィリアムテル」序曲	
A 合唱 杉本竜一 / ビリーブ	B 手拍子リズム ロッシーニ / 歌劇「ウィリアムテル」序曲		
◆アンコール シュトラウス I 世 / ラデツキー行進曲			
※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。			
公演時間 約80分			
※プログラムを一部割愛し、45～60分程度の短縮公演とする事も可能です。			

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください**■出演者** (合計 24名)

指揮者 1名、歌と司会 1名

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 22名

■スタッフ (合計7名)**タイムスケジュール (標準)**

13:30 開演の場合

9:00-10:30	10:30	11:30-12:30	13:40~15:00	15:00-16:30
楽器搬入・仕込み	楽団到着・準備	リハーサル	本公演	バラシ・楽器搬出

※上記タイムスケジュールはあくまでも予定ですので、若干変更の可能性はあります。
※午前中の開催となる場合は、前日仕込みが必要となります。

実施校への協力依頼人員

楽団所有の楽器等の搬入・搬出に関しては原則楽団の方で行います。

(ただし、体育館が2階以上にある場合や搬入・搬出の経路が長い場合はお手伝いをお願いすることもあります)

体育館内のイスの準備・片づけは学校側でお願いいたします。

演目解説

◆歌劇「カルメン」より 前奏曲

オペラの中でも世界で一番多く上演されるほど人気の高い作品「カルメン」。オーケストラコンサートなどでも単独でよく演奏されるこの有名な音楽は、演奏会の幕開けにふさわしくオーケストラの世界へ子供たちをグッと惹きつけます。

◆楽器紹介

オーケストラを構成する楽器たちを、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の順に楽しいお話と演奏を交えながら紹介していきます。

◆歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲

イタリアのオペラ作曲家マスカーニが作曲した歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」。美しくも哀しい旋律の「間奏曲」は、マスカーニの“アヴェ・マリア”としても有名な1曲です。

◆オペラ・アリア

オーケストラの演奏に続いて、プロの歌手によるオペラ・アリアを聴いて頂きます。オーケストラの楽器とは違い、身体が楽器となる声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声、表情や衣裳などにもご注目ください！

♪校歌合唱

普段ピアノ伴奏に合わせて歌う校歌を、オーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。

♪指揮者体験コーナー

指揮者から指揮の振り方・役割などをアドバイスしていただき、代表で2～3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。

♪共演コーナー

「合唱」「手拍子リズム」のいずれかから1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。会場の皆さんで一体となり演奏することで、メンバーの一員として“共に音楽を奏でる喜び”を体験していただきます。

◆バレエ組曲「くるみ割り人形」より ” 花のワルツ ”

優美な旋律が魅力的なバレエ組曲「くるみ割り人形」より”花のワルツ”をお届けします。3大バレエとして有名な「くるみ割り人形」のメロディは、どこかで耳にしたことがあるはず。

※プログラムを一部割愛し、短縮公演とする事も可能です。

「校歌」は合唱が難しい場合は、鑑賞のみとする事も可能です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

コンサートの後半に、児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーを3つご用意しています。

♪校歌合唱

普段はピアノ伴奏で歌っている『校歌』をオーケストラ版に編曲。いつも聴いているメロディーが、オーケストラの演奏でどのような音に変わるのか。様々な楽器と一緒に音楽を奏でる素晴らしさを、子供たちに体感して頂きます。

※合唱が難しい場合は、鑑賞のみとする事も可能です。

♪指揮者体験コーナー

まずは全員で指揮の練習をした後、代表2～3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感などをより身近で体感していただきます。鑑賞している児童・生徒の皆さんは、指揮の変化によってどのように音楽が変わるのか、注目です。

♪共演コーナー

「合唱」「手拍子リズム」のいずれかから1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。

「合唱」では、「ビリーブ」をオーケストラと一体となって、歌って頂きます

「手拍子リズム」では、手や膝を叩いて身体を楽器に！オーケストラの音楽にのり、それぞれの学校に合わせたオリジナルの”リズム”を刻みます！

児童生徒とのふれあい

■ワークショップでは、まずは「楽器」や「オーケストラ」に興味を持っていただけるように、より近くで楽器を見て聞いて、音楽を身近に感じていただきます。また「質問コーナー」を設けることで、演奏者をより身近な存在に感じてもらい、児童・生徒の皆さんと交流を図ります。

■本公演では実際にオーケストラと共演し、いろいろな楽器・人・歌手と一緒に音楽を奏でる喜びを味わっていただき、常に児童・生徒と一緒に楽しめる公演を目指していきます。